



三重県電気工事業工業組合
 三重県電気工事協力会
 発行人 角谷利夫
 編集責任 広報委員

通常総代会とともに

創立記念式典を挙げる

去る五月二十二日、津市の「津センターパレス」ホールにおいて10時より工業組合第21回通常総代会を開催、総代一〇〇名中、八〇名（委任出席八名を含む）が出席、定刻魚見理事の司会により開会、議長に名張

地区、福森理事を選出、議案審議に入った。

「60年度事業報告、収支決算報告の承認」「61年度事業計画、収支予算案の承認」など、提出議案について、一部修成意見を加え原案どおり承認可決。ついで役員改選に入り、各支部から選出された選衡委員により別項のとおり新役員を満場一致で選出、引続き開催された理事会においてそれぞれの役職が決定され、あとの関連事業の報告、承認をもって12時過ぎ終了。

昼食休憩後13時より協働会第41回通常総代会を開催、村協理事の司会により議長として津地区桶常任理事を選出、午前中同様各議案について報告審議、全議

案について満場一致承認可決、角谷会長の再選による就任あいさつのあと別項のとおりそれぞれの表彰を実施、特に今回は三十年間に及ぶ長期間、副会長、副理事長として活躍された伊東直作氏の退任に際し、その功績を称えらるとともに永年のご指導に対する謝意を、

全員を代表して角谷会長より贈り、また伊東氏より永年にわたるご交宜に深謝するとともに今後とも側面ながら全面的な協力をいたしたいとの元氣な謝辞があり、全員の暖かい感謝の拍手が会場一ぱい鳴りひびいた。

なお今回の両総代会の席上、特別提案として中部電力の芳浜原子力発電所建設計画に対し「関連業界とし

記念式典



て電力の安定供給を通じ、豊かな県民生活を維持するための建設推進に、一致団結して諸活動を展開する」との決議文を提案、満場一致で採択された。

(創立記念式典)

総代会終了後15時より、同会場において記念式典を開き、工業組合創立20周年、協働会創立40周年を兼ね、名古屋通商産業局長、三重県知事など約80名の来賓の臨席を得て盛大に祝った。物故者に対する黙禱を捧げた後、角谷理事長のあいさつ、これまでのご協力、ご援助に対する謝意を述べるとともに今後一層のご指導ご鞭撻をお願いし引続いて亀井副理事長の両組織の歩みについて報告、ついで特別表彰、感謝状、永年役員表彰、永年勤続優良従業員表彰など別項のとおりそれぞれ贈呈のあと参会された各界代表による祝辞をいただき、20年、40年の意義ある記念式典を終了、引続いて開催された祝賀会では樽酒の鏡開きを威勢よく三顧問により実施、参会者一同今後益々の業界発展を祈念しつつ盛大に創立記念を祝福した。なお全会員に対し記念誌・記念タオルを各地区を通じ配布、20年40年の創立記念事業の意義周知を図った。

総代会



三顧問による鏡開き



総代会における表彰



中電感謝状をうける伊藤氏

1、退任に伴う

永年勤続役員表彰

四日市 伊東 直作

大台 式嶋 豊

伊勢 伊藤 隆二

2、特別優良技能店表彰

(中部電気工事協力会)

連合会会長表彰)

津 アヤ電気工業所

松阪 鈴木電気商会

鷺方 ミオキ電化設備㈱

四日市 和田電気商会

3、安全推進優良工事店表彰

彰 (協力会 十六店)

津 小野電気商会

佐野電設

上野 東出電気工事店

名張 福森電機商会

松阪 ㈱新光電設工業所

大台 福岡電気商会

尾鷲 ㈱堂前電気商会

伊勢 ㈱伊藤電気工事

〃 山下商会

鷺方 なかにし電工

四日市 電光社

富田 駒田電機商会

桑名 東新電機工業㈱

員弁 小森電気工業所

鈴鹿 浜中電機商会

亀山 ㈱笠井電気工業所

4、優良工事店感謝状

(中部電力 十七店)

津 青木電業社

久居 美杉電気工業所

上野 ㈱明光電気通信工

業

名張 福岡電機工事部

松阪 大淀電気商会

尾鷲 長島電忠電気

〃 福西電気

伊勢 藤電気工業所

〃 ㈱丸天産業

鷺方 作光電気

四日市 三上電機工業社

〃 ㈱稲葉電機総合商

会

富田 朝日電気工業所

桑名 三栄電機工事㈱

員弁 田中電機

鈴鹿 西川電気工事店

亀山 住設セイコースズ

力

5、小規模工事優良地区表

彰 (協力会 九地区)

津地区

久居地区

松阪地区

大台地区

尾鷲地区

四日市地区

桑名地区

鈴鹿地区

亀山地区

記念式典での表彰

1、組合役員功勞表彰

(名古屋)

松阪 角谷 利夫

四日市 伊東 直作

鳥羽 上村 静男

鈴鹿 中西陽太郎

津 蔭田 正幸

四日市 小林重治郎

(三重県中小企業団体

中央会長表彰)

亀山 林 照己

名張 福森誠之助

大台 式嶋 豊

2、特別感謝状

(工業組合・協力会)

北口 三郎

松阪

池山 清司

以上

3、地区役員永年勤続表彰

(工業組合、協力会)

(三十六名)

繁田 劦

山本 猛虎

員弁 伊藤 忠夫

桑名 伊藤 忠夫

富田 野呂 昌宏

〃 村山 伸一

〃 林 行夫

〃 増田 正則

〃 市川 保

〃 藤井 銃吾

〃 四日市 市川 保

〃 鳥羽 坂倉 真華

〃 伊勢 西井 秋夫

〃 吉福 隆志

〃 牛場 伊平

〃 坂倉 真華

〃 藤井 銃吾

〃 市川 保

4、従業員永年勤続表彰

(工業組合・協力会)

(一三一名)

津支部 二十三名

松阪支部 二十五名

伊勢支部 四名

四日市支部 六十九名

東海電気 十名

三重県電気工事業工業組合
三重県電気工事協力会

新役員名簿

理事 理事長・会長 (松阪) 角谷 利夫
 副理事 理事長・副会長 (伊勢) 亀井 正信
 専務理事 兼 総務委員長 (四日市) 小林重治郎
 常任理事 兼 技術委員長 (鳥羽) 上村 静男
 兼 厚生委員長 (津) 楠 修次
 兼 経済委員長 (四日市) 高山 悦嘉
 兼 広報委員長 (松阪) 青山登志男
 (協) 常任理事 (東海電気) 小川増比古
 理事 (久居) 魚見 久志
 (上野) 村脇 謙
 (名張) 福森誠之助
 (大台) 三井 義雄
 (尾鷲) 森本 一夫
 (伊勢) 岡 末男
 (鵜方) 三井 徳男
 (四日市) 糸内 忠
 (富田) 梶 昭夫
 (桑名) 水谷 一九二
 (員弁) 川瀬 宗雄
 (鈴鹿) 中西陽太朗
 (龜山) 林 照己
 (上野) 森藤 季克
 (松阪) 沖本 静雄

委員会構成名簿

委員会名	委員長	副委員長	理事・委員	委員	計
総務委員会	蒔田 正幸 (津)	楠 修次 (津)	上村 静男 (鳥羽) 高山 悦嘉 (四日市) 青山登志男 (松阪) 福森誠之助 (名張) 森本 一夫 (尾鷲) 岡 末男 (伊勢) 水谷 一九二 (桑名)		9名
技術委員会	上村 静男 (鳥羽)	梶 昭夫 (富田)	魚見 久志 (久居)	中池 利清 (上野) 矢野 勇蔵 (松阪) 山口 豊蔵 (伊勢) 西野 生且 (四日市) 藤井 光生 (尾鷲) 野前 巨廣 (伊勢) 天堂 道治 (上野)	8名
厚生委員会	楠 修次 (津)	糸内 忠 (四日市)	三井 徳男 (鵜方) 川瀬 宗雄 (員弁)	繁田 久次 (津) 上野 隆昇 (松阪) 岡野 昇弘 (伊勢) 三野 野 (鳥羽)	8名
経済委員会	高山 悦嘉 (四日市)	林 照己 (龜山)	三井 義雄 (大台)	乙部 邦夫 (津) 森井 貞彦 (大台) 下見 誠一郎 (伊勢) 服部 誠七郎 (四日市)	8名
共同保守業務管理委員会	(総括管理責任者) 角谷 利夫 (松阪) (委員長) 小林重治郎 (四日市)	亀井 正信 (伊勢) 蒔田 正幸 (津)	上村 静男 (鳥羽) 楠 修次 (津) 高山 悦嘉 (四日市) 青山登志男 (松阪) 福森誠之助 (名張) 森本 一夫 (尾鷲) 岡 末男 (伊勢) 水谷 一九二 (桑名)		12名
安全推進会議	(主査) 角谷 利夫 (松阪)		亀井 正信 (伊勢) 小林重治郎 (四日市) 蒔田 正幸 (津) 上村 静男 (鳥羽) 楠 修次 (津) 高山 悦嘉 (四日市) 青山登志男 (松阪) 福森誠之助 (名張) 森本 一夫 (尾鷲) 岡 末男 (伊勢) 水谷 一九二 (桑名) 小川増比古 (東海電気)	(中電) 部長、配電運営課長、副長 (幹事) 大矢、市岡	18名

飯田新会長就任

青年部会発展のため

よろしくご協力を!



飯田会長 就任あいさつ

青年部会は発足以来第一年度を迎え、会員も現在一三名となり、各地区において積極的な自主的事業を計画・実施・青年部ならではの勉強会・研修会・リクレーション活動など浸透しつつあります。
会員は年令制限もある関係上本年度総会において役員改選の結果つぎのみなさんが選ばれ活躍されること

となりました。

業界の後継者育成のためどうかみなさんの暖かいご理解、ご協力をお願いいたします。

青年部会

新役員名簿

- 会長(久居) 飯田 秀南
- 副会長(伊勢) 西野 勇蔵
- 幹事(四日市) 市川 保
- 幹事(上野) 中矢 利春
- 〃(松阪) 近藤 剛
- 〃(〃) 角谷 徹
- 〃(鳥羽) 小寺美喜雄
- 〃(四日市) 三上 隆志
- 〃(〃) 和田 博
- 〃(富田) 水谷 信夫
- 〃(桑名) 林 政明
- 〃(員弁) 岡 正人
- 〃(鈴鹿) 中西 尚
- 〃(亀山) 服部 伸行
- 監事(伊勢) 宮内 道廣
- 〃(津) 山本 明

理事会、委員会などのうき

◎61・4・18(金)
理事会(19名出席)

- 事業報告
- 加入・退会承認
- 総代会提出議案審議
- 記念式典運営について

他

◎61・5・22(木)
総代会・記念式典

- 工業組合第21回総代会
- 協力会第41回総代会
- 創立記念式典

(別項のとおり)

◎61・5・26(月)

- 常任理事会(7名出席)
- 顧問委嘱について
- 各委員会構成について
- 関連団体などの役員構成について

他

◎61・6・12(木)

- 理事会(19名出席)
- 全日電工連表彰伝達

(別項のとおり)

- 事業報告
- 加入・退会承認
- 中電連絡事項

(申込用紙の変更他)

○顧問委嘱について

◎61・6・23(月)
広報委員会(5名出席)

- 委員会構成について
- 61年度事業計画の具体策
- 61年度電気使用安全月間運動について

他

◎61・7・1(火)

- 技術委員会(8名出席)
- 委員会構成について
- 61年度事業計画の具体策
- その他

◎61・7・2(水)

- 厚生委員会(7名出席)
- 委員会構成について
- 61年度事業計画の具体策
- その他

◎61・7・4(金)

- 経済委員会(8名出席)
- 委員会構成について
- 61年度事業計画の具体策
- その他

◎61・7・7(土)

- 総務委員会(9名出席)
- 委員会構成について
- 61年度事業計画の具体策
- その他

◎61・7・12(土)
常任理事会(7名出席)

- 各委員会事業調整
- 電気施工管理士制度について
- 陳情活動について
- 引込しゅん工票の取扱について
- その他

◎61・7・14(月)

- 理事会(18名出席)
- 事業報告
- 加入・退会承認
- 61年度引込委託契約について
- 中電連絡事項
- 各委員会事業の承認
- 電気施工管理士制度について
- 電気使用安全月間運動について
- 政治連盟活動報告
- その他

以上

帳票類などの合理化

保守管理業務規程の改正

共同保守管理業務規程と運営規約の改正が、通産局の承認を得、新しい規程に基き実施されています。このたびの改正は従来の運営内容を見直し、さらにスムーズに保守管理業務が行われ、また契約についても円滑に行われるよう改正されました。

① 契約の有効期間が二年から一年となり、一年ごと

② 規程などの表現をお客さまにとつてもわかりやすい表現に変更し、例えば、連絡責任者→担当組合員、手数料→保守管理料、など

③ 規程などの表現をお客さまにとつてもわかりやすい表現に変更し、例えば、連絡責任者→担当組合員、手数料→保守管理料、など

④ 規程などの表現をお客さまにとつてもわかりやすい表現に変更し、例えば、連絡責任者→担当組合員、手数料→保守管理料、など

その主な内容としては、
① 契約の有効期間が二年から一年となり、一年ごと

② 規程などの表現をお客さまにとつてもわかりやすい表現に変更し、例えば、連絡責任者→担当組合員、手数料→保守管理料、など

③ 規程などの表現をお客さまにとつてもわかりやすい表現に変更し、例えば、連絡責任者→担当組合員、手数料→保守管理料、など

④ 規程などの表現をお客さまにとつてもわかりやすい表現に変更し、例えば、連絡責任者→担当組合員、手数料→保守管理料、など

関係団体からの晴れの表彰

1、全日電工連会長表彰

(役員功勞) 亀山 林 照己 (61・5・28)

(職員功勞) 四日市 相松 正子

2、中部電気工事業厚生年金基金15周年記念式

(愛知県知事表彰) 津 繁田 勲 (61・6・5)

(厚生年金基金) 尾鷲 宮原電気商会 宮原 勇生

3、電気安全会中部委員長表彰

(優良電気工事士) 津 正栄電気商会 柏木 忠

4、東海電友共済金25周年記念式

(理事長表彰) 桑名 港電機商会 森川 利次

(職員功勞) 四日市 相松 正子

(理事長表彰) 桑名 港電機商会 森川 利次

理事長表彰

上野 山本 猛虎

四日市 織田 雅夫

津 正栄電気商会 柏木 忠

伊勢 星和電気工事 加藤 正生

尾鷲 宮原電気商会 宮原 勇生

桑名 港電機商会 森川 利次

四日市 相松 正子

尾鷲 宮原電気商会 宮原 勇生

尾鷲 宮原電気商会 宮原 勇生

尾鷲 宮原電気商会 宮原 勇生

尾鷲 宮原電気商会 宮原 勇生

安全作業十訓の活用について

安全作業十訓の活用について
さきにも全事業所に配布いたしました十訓については、それぞれ事業所に掲示され活用されていることと思いが、最近の重大災害多発にみ、本年度は特に「職場安全環境整備」運動を展開しております。「職場の災害ゼロ」達成のため、各地区安全推進会議では、年間を通じ種々計画を実施し、みなさんの積極的な参加を促しております。この十訓を活用され、一日の安全のためチェックするなど従業員一人ひとりの習慣化をぜひ励行されるようお願いいたします。

電気使用安全月間について

来る8月1日から一カ月間電気使用安全月間が通商産業省主唱のもとに全国一斉に実施されます。

一般家庭を中心に電気使用の安全に関する啓蒙を行い、不適合電気設備の改修を実施するとともに、あわせて電気工事を行うわれわれ自身の研修を行い、一般用電気工作物の保安確保と電気災害の防止に資することを目的に、主な項目としては、

①電気使用安全に関する啓蒙指導

②漏電遮断器の取付推進

③不適合電気設備改修工事の実施

④電気工事士に対する研修の実施

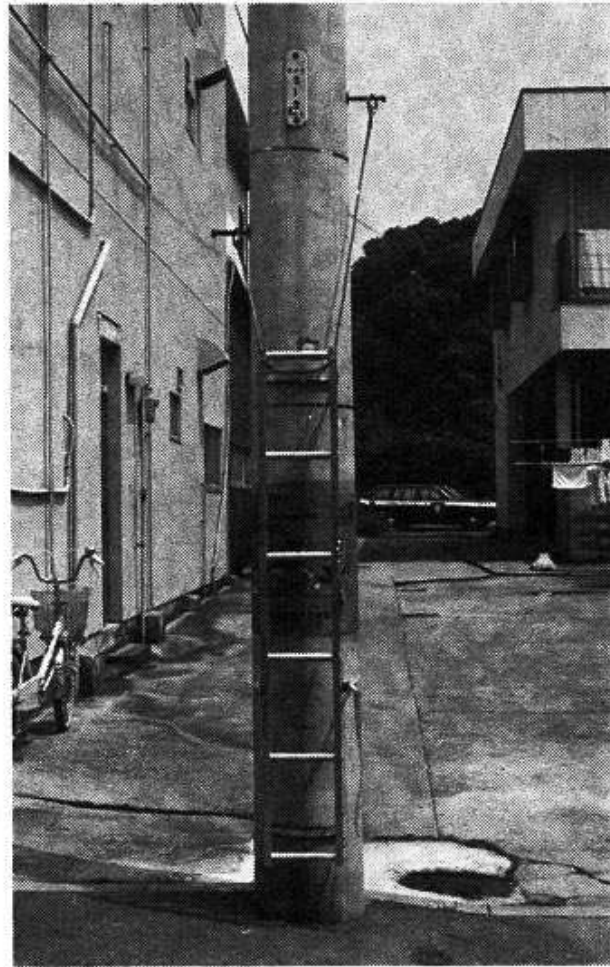
⑤電気安全啓蒙PRの実施

⑥各地域における自主的行事の実施

など、全員の参加により運動を盛り上げることとなっております。すでに各店に掲示する「ポスター」等も配布済みであり、事故発生の多い8月一カ月間、みなさんの積極的なご協力、参加をお願いいたします。

〈技術委員会からのおすすめ〉

「電柱昇柱用具」について



固定された昇柱梯子

最近作業時の足場の不安定による災害が多発傾向にあります。

技術委員会では新技術に対する調査研究・指導と併せて日常の安全対策についても常に検討をすすめているところでもあります。

今回は中電側において採用されている「電柱昇柱用具」についてご紹介いたします。

写真のとおり取付後は、

地上より無墜落昇柱も可能な用具で取り扱いも極めて簡単なものです。

その取扱い手順要領は、
① 梯子を一本の状態に伸ばし引掛安全フックを固定する。

② 本体を持ち上げ先に第二足場につり、ロープ先端の環を引掛ける。

③ 本体を引きおろしながら第一足場にもう一方のつりロープ先端の環を引掛

ける。

④ 本体が中心になる様に巻き付け、金具にフックを引掛け、ベルトを十分に引張り固定させる。

以上のとおり簡単な操作で固定され、安全な足場が確保できるものです。

なおこの用具は特注で、大東電材(株)の取扱いとなっており、市価二〇、〇〇〇円〜二五、〇〇〇円程度

とのこと。

現品は中電で使用中心のことですから、一度試用され、みなさんの事業所でもぜひ採用され、安全確保に

ご努力をお願いします。

なお、各地区において希望がまとまれば、取次あつせんなどを実施する予定です。

年金法の改正に伴う

五人未満事業所への適用拡大!

新しい年金制度の施行と同時に61年4月から、五人未満事業所等への社会保険の適用拡大が行われています。

61年4月から64年3月までの3年間で段階的に法人の事業所について、すべて強制適用されることとなっています。

この社会保険はご存知のとおり「健康保険」と「厚生年金保険」であり、事業所を単位として適用されます。

電気工事業については強制適用事業であり、使用される者は、適用除外に該当しない限り被保険者となります。

今次の年金改正において

基礎年金が導入されたことに伴ない、被用者年金は、いわゆる二階部分として、その固有の給付を行なうこととなるのを契機に、常時従業員を使用する法人の事業所を対象として適用拡大されたものであり、対象事業所の十分な理解が求められています。

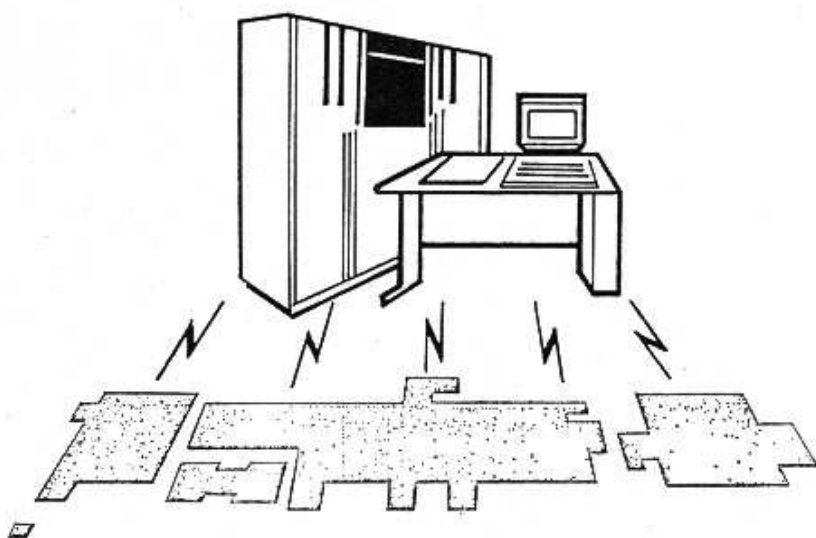
厚生委員会ではこの新たな制度についての細部取扱い、手続などについて、説明会を逐次開催する予定であり、また中部電気工事業

厚生年金基金とのタイアップにより、各事業所の加入手続きなどに協力し、各企業の安定経営確立のための本制度の推進を図ることとしていきます。

建設省、三重県土木部からのお知らせ

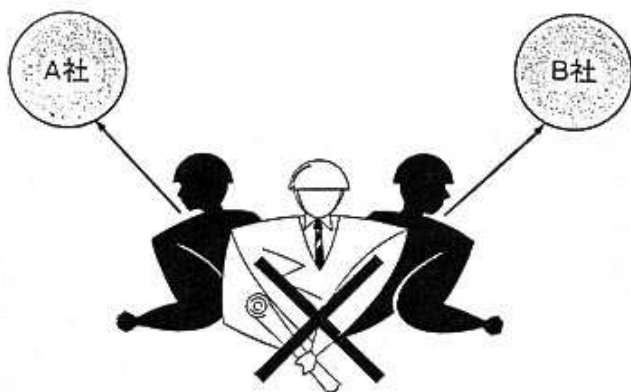
62年4月から建設業の許可申請様式が変わります。

現在の許可業者数は大臣許可・知事許可合わせて51万余に達しています。これらの方々から提出される更新申請、変更届やさらに新規の申請の増加などから審査事務が十分に行えない状況にあります。このため昭和62年4月から許可審査事務にOA（コンピューター）を導入して厳正化・迅速化を促進することになりました。



技術者や経營業務の管理責任者がコンピューターに登録され名義貸(借)などがチェックされることとなります。

許可審査の厳正化を図るためコンピューターに技術者や経營業務の管理責任者を登録して審査を行い、重複申請などの防止が図られます。



建設業の許可審査事務が全国ネットワークを利用してOA（オフィス・オートメーション）化されます。

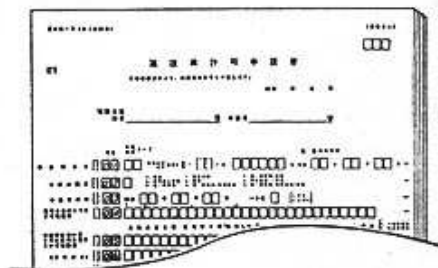
許可審査に一部コンピューターを導入するとともにこのコンピューターを全国オンラインで結ぶデータ通信ネットワークにより許可に関する情報を一元的に管理します。

許可申請書等の様式がOA化に合わせて変更されます。

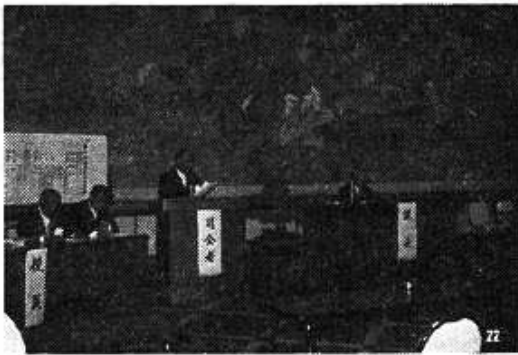
許可申請書や変更届の様式はコンピューターで処理できるように変更されます。

OA化による許可審査事務は昭和62年4月からスタートする予定です。

昭和62年4月以降新たに許可申請する方や許可の更新申請・変更届等を行う方は新しい様式で申請することになります。なお、新しい様式については現在検討中ですので、決まり次第お知らせする予定です。

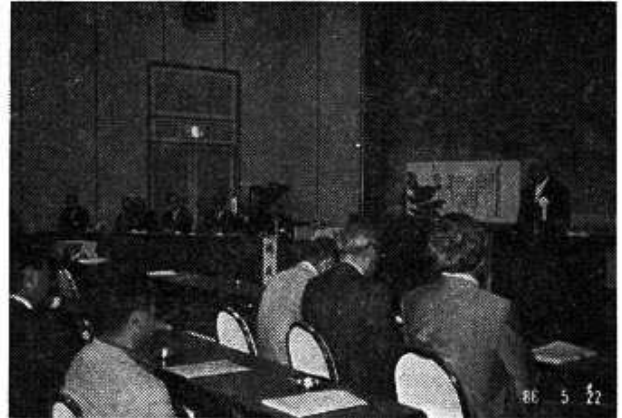


総代会、記念式典スナップ



総代会における議案説明

30年間の永きにわたり、活躍された伊東直作氏の退任あいさつ



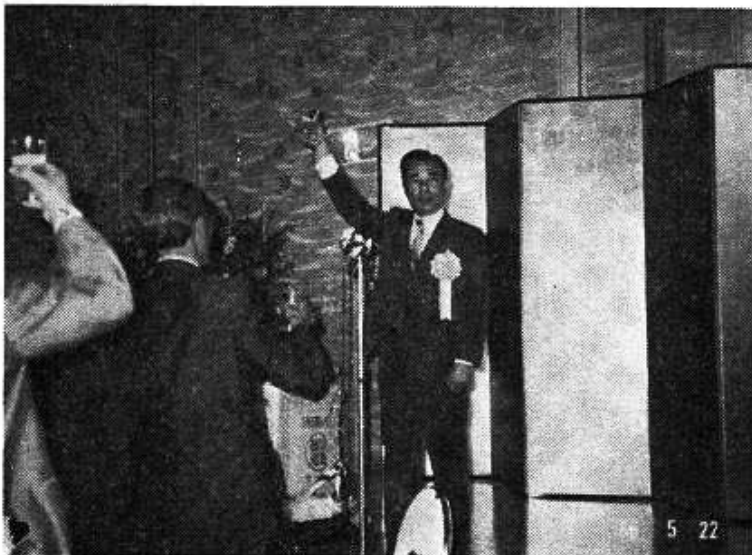
86 5 22



名古屋通産局長表彰をうける
角谷、伊東氏



来賓はじめ、一八〇名の参加により記念式典を挙行、角谷理事長のあいさつ



5 22

工業組合創立20周年、協会創立40周年を記念し、今後の益々の発展を祈念して、水谷顧問の音頭による乾杯



三重県知事表彰をうける
上村、中西氏

永年役員(地区)表彰をうける
津地区鈴木代表



危険注意

不適合な「電工ドラム」

通産省公益事業部が行った六十年年度電気用品の試買検査結果、マルチタップのうち通称「電工ドラム」または「コードリール」と呼んでいるものに「電気用品取締法技術基準に不適合な事例が多く見受けられ、そのうちの一部では発火などの危険の恐れのあるものであることが判明した。使用に際しては十分な注意が必要で、具体的には

①取付いている電源電線を巻いた状態で使用する場合には、電線を重ねた箇所

に熱がこもり易くなるため許容電流に注意すること

②屋内用の表示のあるものは、屋内でのみ使用、また屋外で使用の際や、電源電線の長さが10mを超える場合には、電氣的・機械的な性能を維持するため、その電源電線にキャブタイヤケーブルの取り付いているものを使用する必要がある

③電源電線を頻繁に根元まで引き出すと、電線の器体との取付部分や貫通部分に損傷が生じ易くなるので注意すること。

編集後記

61年度総代会において役員改選が行われ、広報委員会も新しい陣容で発足いたしました。

本年度より会報内容を多少変更し、リレー記事などにかわり、できるだけ「お知らせ」事項を掲載いたしました。なお本年度から六回の発行を予定しており

ますので皆さまの身近なできごと、話題など常時受けたいしますのでぜひご投稿下さい。またお知らせ事項が多くありますので例会などでは皆さんで読んで理解、周知をはかるなど、会報に大いに親しんでいただきます。委員一同心から

以上三点に留意しての使用者等に対し、回収または改善を資源エネルギー庁では善命令等所要の措置がとられ、製造事業 されている現状で機会があれば必要家各位にも広く周知徹底されるよう協力の依頼が あった。

分離発注促進シリーズ ①

電気工事業など設備工事の分離発注促進 岡県管工事工業協会が編集された資料を参

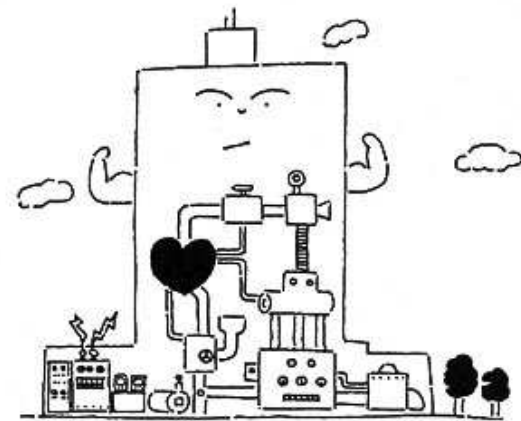
については、早期実施について常に努力し 考に、全会員の理解をさらに深めるため

しており、そのメリット、重要性などすでに リーズとして掲載いたします。

十分理解されていると思います。今回、静

設備の重要性

近年、私たちの周囲の建物がりっぱになってきたことは、まことに目をみはるものがあります。しかも、それらは決して見せかけばかりがりっぱになったのではありません。建物内の環境が以前とは比べようもなく整備されています。



これらはすべて、空気調和、給排水衛生および電気など「設備」部門の充実によるものです。

建物をその構成要素から分類すると、「意匠」と「構造」と「設備」の3つに分けることができますが、これを人間の身体に例えれば、「意匠」は全体の容姿にあたり、「構造」は筋骨、そして「設備」は循環器、消化器、さらには神経などにあたるということが出来ます。設備というものが現代の建物にとっていかに大切なものであるか、この例からも納得して頂けるものと思えます。

言い替えれば、現代建築の値打ちは、設備の良し悪しによって決まると言っても差支えありません。しかも、この設備の分野こそまさに日進月歩の発展を続けて、今後ますますその重要性を増していくことは確実です。